

今後の地域戦略の一考察

～鹿児島・EUにおける地域プラットフォーム～

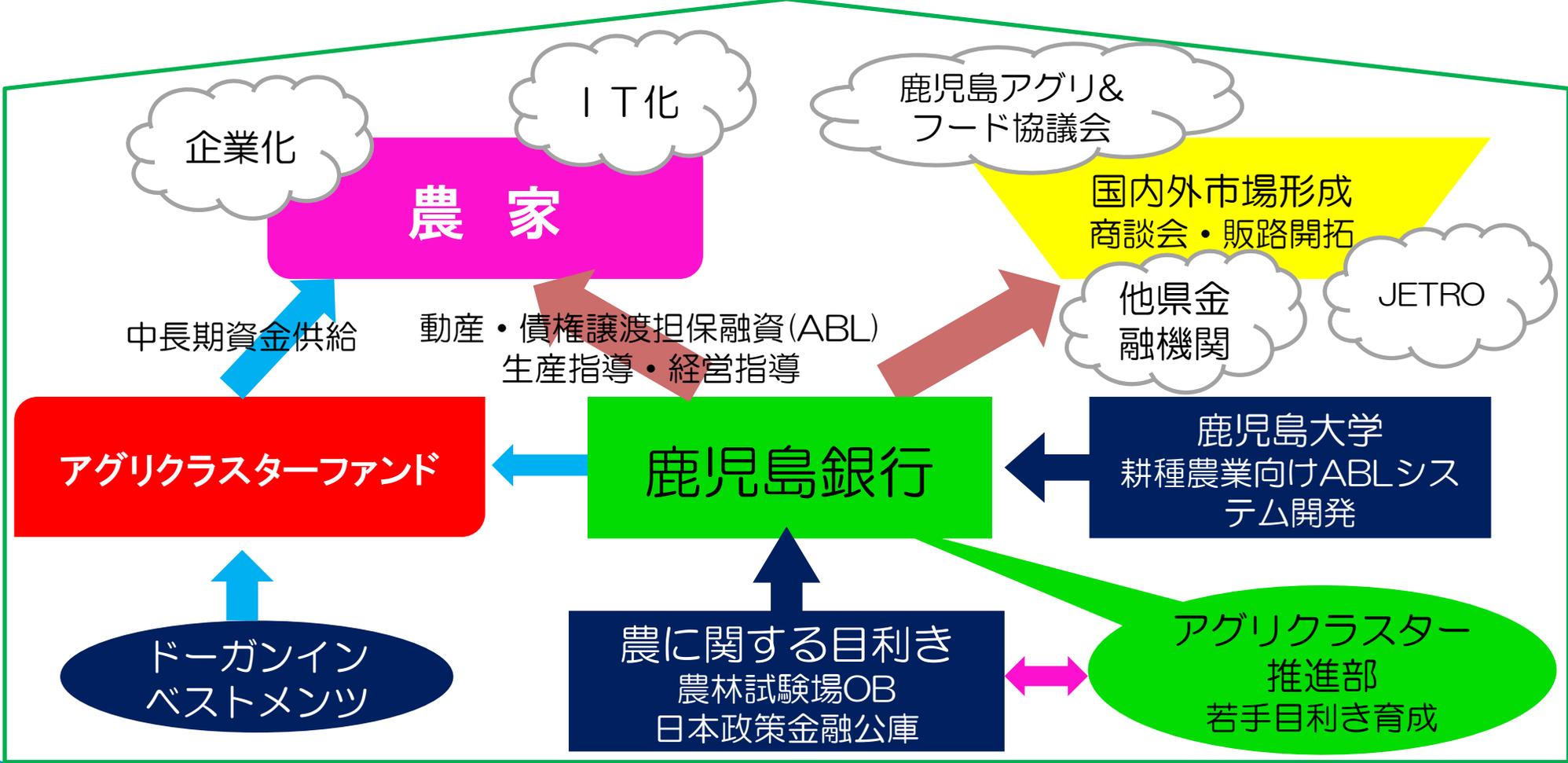
総務省・地域の元気創造有識者会議③

2013年4月10日

(株)日本総合研究所

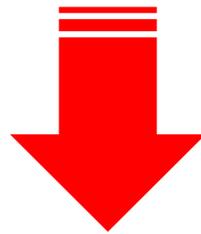
藤波 匠

アグリクラスター形成
鹿児島ブランドの構築
地域内発展型産業育成



今後の地域戦略に必要な視点

- 戦略の**核**となる組織（鹿児島では地銀）
- 地域のポテンシャルの見極め
- 資金供給はもとより、情報化等、多面的支援
- 市場開拓（国内外）
- クラスター形成（産・学・官のネットワークによる生産性の高い企業群）



欧州の地域戦略を参照

今後のEUの地域戦略①

EU全体の中期成長戦略（2020年まで）

Europe 2020

- 知的 (Smart)
- 持続可能 (Sustainable)
- 包括的 (Inclusive)

教育・研究・革新

低炭素経済(競争力)

な経済成長

経済・社会・地域の結
束による良質な雇用

ポイントはイノベーション

技術革新はもとより、新制度、新たな仕組みなど、
農業、サービス部門などでも

Regional Innovation Index (2006)

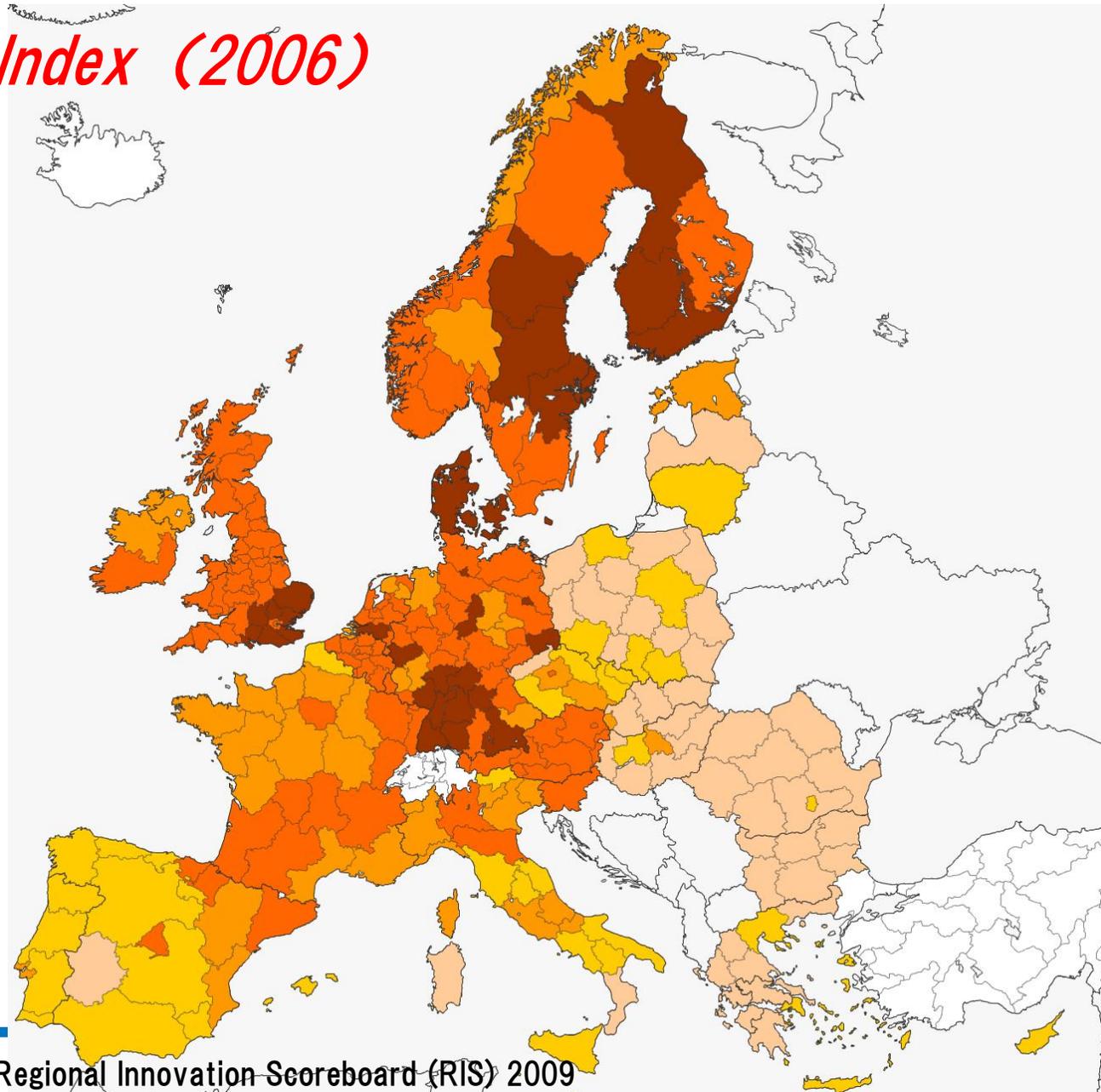
RII

- 高等教育・生涯学習
- R&Dへの官民の支出
- ブロードバンドへのアクセス
- 特許数
- 革新的企業数
- 知的集約型産業従事者数
- 新商品の市場への投入

など

High Innovator

デンマーク、スウェーデン一部、
フィンランド一部、ドイツ南部、
イギリス南部、オランダ一部



今後のEUの地域戦略②

地域政策では

Research and Innovation Strategies for Smart Specialisation (RIS3)

- 地域間格差を構造基金等を用いた公共投資で埋めようとした戦略から、技術的・知的・制度的な比較優位を確立することで、高付加価値・差別化戦略へ転換。
- 地域が主体的に自らの強みを生かして成長することを目的とした仕組み作り。

RIS3のポイント

RIS3

Step 1 : 地域における革新による差別化のポテンシャル分析

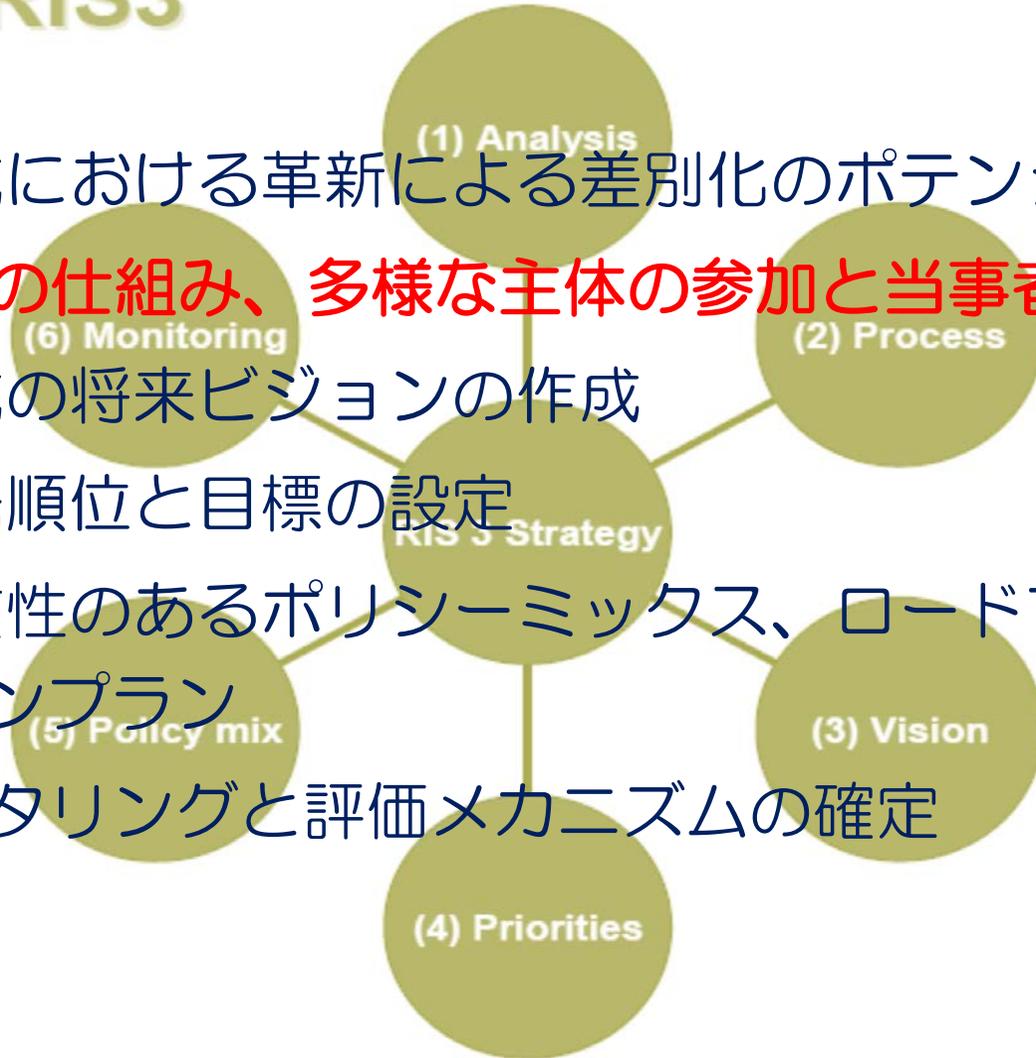
Step 2 : 統治の仕組み、多様な主体の参加と当事者意識（次頁）

Step 3 : 地域の将来ビジョンの作成

Step 4 : 優先順位と目標の設定

Step 5 : 一貫性のあるポリシーミックス、ロードマップ、アクションプラン

Step 6 : モニタリングと評価メカニズムの確定



Step 2: Process, Governance

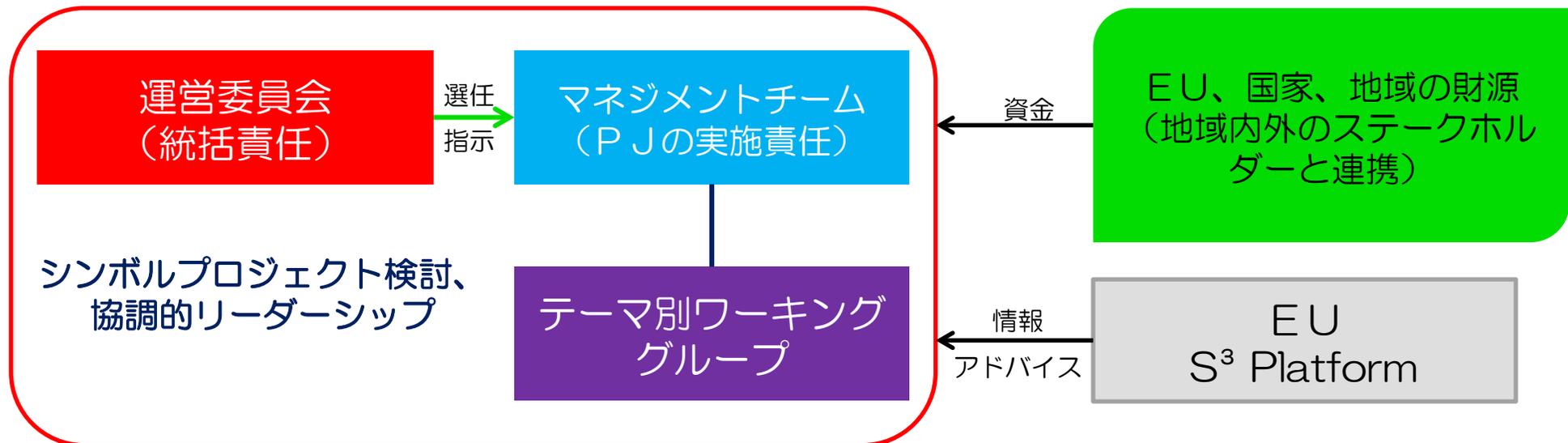
○多様な参加

産学官（研究機関を含む）（三重らせん構造）

＋イノベーションのユーザー、需要サイドの視点から消費者、NPO、市民、労働者等を巻き込む＋当事者意識

○統治機構

域内プラットフォーム



EUからの政策導入の課題と対応

- リーダーの不在

⇒地域経済活動停滞の影響を直接的に受ける人を中心に据える

- すでにある地域再生の仕組みとの相溶性 (ex.総合特区等)

⇒特区のような制度ありきの仕組み（地域協議会）ではなく、内発型・ボトムアップ型の課題解決スキームを構築

- EUにおけるイノベーションは、やや科学技術主導

⇒地域の多様な課題を認識し、解決策を模索する仕組みを常設（産業育成・インフラ投資・医療介護）